



いきいき ほのほの わくわく あったか湖東時間

第69号

好きやねん湖東

湖東地区まちづくり協議会発行
2011.3

幼稚園・保育園 生活発表会



※一緒にまちづくりしませんか！ただいま湖東まち協ではお手伝いしていただける方を募集しています。
お気軽に声をかけてください♪



湖東診療所・東野は、日本小児科学会認定小児科専門医の資格があります。小児科医って、子どもの病気を治す？違います。病気は、なる前に（予防接種で）予防すればよいのです。小児科医の願いは、子どもたちの健やかな成長・発育を見守ることです。保健センターで、子どもたちの検診をします（4か月児検診・10か月児検診など）が、「何か病気が無いか？」という診察ではありません。表情や、からだの動きなどを観察し、健やかに成長発育しているかを見守っているのです。

「這えば立て 立てば歩めの親心」※

ことわざ辞典にはこう書いてあります。這っている時は、早く立って欲しいな～、立つようになると、早く歩いて欲しいな～と、つい次を望んでしまうのが親心というものですね。赤ちゃんは一日一日成長します。楽しみです。嬉しいですね。

でも、赤ちゃんは、生まれてすぐには歩けません。這えば→立て 立てば→歩め です。ハイハイができるようになってから立つ、立つようになってから歩き出すのです。

赤ちゃんの成長・発育にはある程度の順番、目安があります。

アヤを(お)説(と)く 願い通(ね)が(ひ)とおすは 捕(つか)まった人(ひと)

アヤって、言葉のアヤ、話のアヤ、のアヤですよ。アヤを説法する？願いを通すのは？捕まった人？??? 東野が医学部学生時代からずっと覚えている“赤ちゃんの成長発育ゴロ合わせ”です。

「あや おとくねがひと おすはつかまつたひと」

あや	生後2ヶ月児 あやすと笑う（目の前にあるものを認識する）
おと	3か月 音に反応する。（瞬きをしたり、泣き止んだり）
く	4か月 首が据わる（定頸）。
ねが	5か月 寝返りをする。
ひと	6か月 人見知りをする。（瞬きをしたり、泣きやんだり）
おす	7か月 おすわり（お座り）ができる。（座らせたら、座れる）
は	8か月 ハイハイができる。（這う。両手両足がバランスよく動く）
つか	9か月 つかまり立ちができる。
ま	10か月 マンマン…などの声が出る（喃語）。
つた	11か月 つたい歩きができる。
ひと	12か月（1歳） ひとりで歩ける。



どうですか？赤ちゃんは1年でこんなにも成長するのです。でも、あくまでもこれは“目安”の語呂合わせ！です。赤ちゃんはマイペース。あせらず慌てず、夫婦仲良く・親子仲良く、一緒に成長を楽しみましょう。小児科医が見守っています。（東野）

※ ～我が子の成長を待ち望む親の心を表した言葉。「わが身につもる老いを忘れて」と続けることもある。～

作ってみよう 《根菜類と牛肉の煮物》



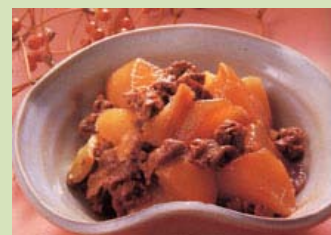
筑前煮とよく似ていますが、牛肉を使うことで味がこっくりします（^-^）

〈材料〉4人分

大根	1/3本
人参	1/2本
ごぼう	1/3本
里芋大きめ	5個
椎茸	4枚
油揚げ	1枚
牛肉	250g

〈作り方〉

- ① 野菜類は、大きさを揃えた乱切りにする。薄切り牛肉は一口大に。
- ② 牛肉をサラダ油大さじ1で炒め、ほんのり色が変わったら、野菜類を入れ炒める。だし汁をひたひたに加え、アクを取りながら、野菜類が柔らかくなるまで煮る。
- ③ 料理酒大さじ3、砂糖大さじ3、みりん大さじ1、しょうゆ大さじ4を順番に加え、煮汁がほぼなくなる位までコトコト煮る。濃いめの味付けがお好みの方は、調味料を増やして下さい。



ご飯に、がっつり合いますよ！

(Naomi)



湖東歴史民俗資料館は、旧湖東第二小学校の校舎を改修して昭和57年に開館し、子どもからお年寄りまでの郷土学習の場として親しまれてきました。(現在は、土日祝日のみ開館)

3月21日(祝)に『33mの廊下、一気拭き競争』が開催されます。

担当の角川さんに話を聞きました。「歴史民俗資料館は、良質な民具が收藏されており、そのコレクション数も多いことから、市内外の小学校が校外学習でよく利用してくれます。平成21年度までは文化財課の管理で、保存に重点を置いていましたが、平成22年度から生涯学習課が管理を担当しており、石うすで大豆をきな粉にする体験や廊下拭きなど、できるだけ体験を通して民具や建物に親しんでいただく取り組みをおこなっています。



湖東歴史民俗資料館



その中で、廊下拭きの体験は、“大変だけれど楽しかった、もう一度やりたい”という声を多くいただくため、そのようなイベントがあっても良いのではないかと考えました。また、来館する子どもたちの多くが、元は小学校だったことに驚くとともに、木造の建物に興味を示すため、今後は、建物自体をもっと活用できないかと考え始めたところです。この学校ができた昭和18年には、パン焼き釜があったそうです。当時のことを知っている方に話を聞くと、その釜ではパンを焼いた記憶はなく、焼き芋ばかり焼いていたそうですが、『もし、パンを焼いた記録(例えば当時の献立などの資料)などが発見され、復元(再現)できれば、新しい観光の目玉にもなるのではないか』などと考えもします」と、資料館への想いは尽きないようです。

実際に幼い頃通った校舎が残っているのは、すばらしいことです。地元の人がこの建物を活用し、多くの観光客が訪れる場所になればいいなと感じたところです。

『33mの廊下、一気拭き競争』の様子は、来月号でお伝えします。(小島)

まち協だより

～子育て支援部会～



2月23日(水)湖東公民館において、第2回 子育て支援 関係機関・団体交流会が開催されました。

湖東地区の学校・園の先生方、PTA、湖東地区自治会連合会、主任児童委員会、湖東公民館長、まち協運営委員が参加しました。

初めに谷川運営委員長より『湖東地区 学校・園 支援ボランティアバンク』について、現状説明とお願いなどがあり、関係機関・団体より意見をいただきました。

ボランティアバンクの認知度(存在、内容など)が著しく低いことを反省し、今後の周知、連携、運営について改善を図ることにします。(tanaka)



地域の話題—さざんか学習講座—

『家庭の菜園講座』

2月25日(金)、湖東公民館大会議室にて『平成22年度 家庭の菜園講座』に参加してきました。

“土づくり”という題材で、この時期の土づくりの大切さを習ってきました。当日は、16名の方が熱心にメモを取り、高田 利通先生のお話を聞いていました。

畑を耕す時の肥料の施し方の注意点、また春から夏にかけての野菜の植え方、コンパニオンプランツ[※]の活用など丁寧に教えていただきました。

参加した人は、『畑をする際、本では理解できない箇所を細かい部分まで教えていただけたので解りやすいです』、『習ったとおりに作ると、よく生育して喜んでます』と 皆さんとても満足しているようです。野菜作りをしたことのない私でも、これならできるかも!と感じました。(Atuko)

※ ある種の植物同士をつまき組み合わせると、病虫害や雑草の被害をなくしたり、減らすことができます。この相性のよい植物のことを“コンパニオンプランツ(共栄作物)”という。



“表具師”として生きる

- Q 今の仕事に就いたきっかけは？
 A 高校を卒業した後、5年間表具の本場京都で住み込みの修行をして、23歳の時に滋賀に戻って親父の後を継ぎました。表具師って一般には珍しい仕事ですし、何より人を喜ばす職に就きたかったということもありました。
- Q 仕事についてどう感じますか？
 A 表具も内装業（壁紙、クロス貼り）もお客さんの目につく仕上げの仕事なので、非常に目配り・気配りを大切にしています。良かったことは、商品（作品）が仕上がってお客さんに喜んでもらえた時です。
- Q コトナリ工実行委員長も務め、現在は、滋賀県商工会青年部連合会の会長をされていますか？……
 A 色々な経験をさせていただきました。先輩や後輩、たくさんの方の助けがあってできたのかなと感謝しています。一期一会、出会いはチャンスです。多くの方に出会えたことが私の宝です。
- Q 家ではどんな旦那さん？どんなお父さん？
 A 決して良い旦那、良いお父さんではないような気がします！
 奥さんコメント ⇒「そのとおり ……………」
- Q 最後に一言どうぞ
 A **これからもお客さんの暮らしを素敵に演出できたら嬉しいです。お客さんと一緒に物作りしたいですね。**

掛け軸、襖、額、屏風、クロス貼り、和・洋内装、インテリアのことなら、青山表具店・インテリア工房 a~ROOM へ！

(Takano)



おちゃめな 孝司さん

インテリア工房 a~ROOM
 青山表具店 青山孝司
 〒527-0108
 滋賀県東近江市小八木町 1020
 〒529-1211
 滋賀県愛知郡愛荘町香之庄 527
 TEL・FAX 0749-37-3993
 URL : <http://www.a-room.tv/>

この人紹介

西澤 早苗

(にしざわ さなえ) さん (読合堂町)

お疲れさまでした！



西澤 早苗 さん

今回は、当広報誌「好きやねん湖東」の広報部員 西澤 早苗さんを紹介し、貴重な広報部員になっていただき（本当は、引き込まれて・・・）早3年。彼女が手掛けた記事は、内面そのままに的確で視点も絶妙でした。そして何より彼女の人の当たりの良さにインタビューされた方も思わず“にっこり”してしまったのではないのでしょうか。私も何度か一緒に取材に出かけましたが、彼女のおかげで終始楽しい時間を過ごすことができました。

「親友に誘われて参加させてもらった広報紙づくり。何もできない私でしたが、色んな人に出会う機会をいただき、知らなかった湖東の魅力にたくさん気付くことができました。広報で出会えた皆さんのように、いつも、**何歳になってもイキイキとした素敵なお人であることを目指して、これからも頑張っていきます！！**本当にありがとうございました」

最後に一言！という問いにも、丁寧に応えてくれた彼女。今回残念ながら広報部員を卒業されますが、今後も「さなえちゃ〜ん！来て来て〜」と部員から声がかかることでしょう（〜）

(Hiromi)

<編集・発行> 湖東地区まちづくり協議会
 (事務局)

〒527-0113 東近江市池庄町 505 番地
 東近江市 湖東支所内

TEL 45-3702 FAX 45-1570 IP 050-5801-3702

<http://members.e-omi.ne.jp/suki-koto/>
 広報部ブログ <http://machikyo-koto.jugem.jp/>

<<お便りはこちらまで>> suki-koto@e-omi.ne.jp



プレゼント！

今月は、「インテリア工房 a~ROOM」から、障子張替え券（2枚分5000円相当）を1名の方にプレゼントします。ご希望の方は、下記の要領により応募してください。

<応募方法>

あなたの住所、氏名、電話番号を記入の上、事務局までがき、メールまたはFaxでお送り下さい。

締め切り： 4月15日（火）必着